



## 新年ごあいさつ

加古川市長

岡田 康裕

新年、あけましておめでとうございます。

令和5年の新春を、ご健勝にお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、加古川市政、とりわけ商工業の振興に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症による社会経済及び国民生活への影響は今もなお続いております。また、ウクライナ情勢を発端とする原油・原材料価格の高騰や、円安の進行に伴う物価高騰等の影響により、事業者の皆様を取り巻く環境は一段と厳しさを増しているものと思います。

国や県におきましては、昨年、旅行に対する支援が実施され、外国人の個人旅行客の受入れが再開されるなど、ウィズコロナの実現に向けた前向きな取組が進められています。

本市におきましても、引き続き加古川河川敷を中心とする「かわまちづくり」に取り組むとともに、JR加古川駅前や寺家町商店街における賑わい作りを積極的に行ってまいりました。そして、3年ぶりとなる「加古川まつり花火大会」を初の試みとなる市内5箇所での分散型として開催するとともに、加古川ツーデーマーチや加古川マラソン大会も開催するなど、段階的に社会経済活動を再開しているところです。

このような状況の中、新型コロナウイルス感染症による影響を受け、売上が大きく減少した本市域の中小法人や個人事業者の事業継続支援を目的とした支援金の交付のほか、キャッシュレス決済事業者と連携したポイント還元キャンペーンや、加古川商工会議所と連携し、市内店舗のレシートを集めて応募すると市の特産品が当たる「かがわBUY応援キャンペーン」など、事業者や市民の皆様への支援や消費喚起に取り組んでまいりました。今後も引き続き、市内の経済活性化のための施策を進めてまいります。

また、昨年4月に加古川商工会議所内で発足された「ふるさと納税返礼品開発特別委員会」では、一般社団法人加古川観光協会とともに、新たな返礼品の開発や登録について事業者の皆様積極的に働きかけをしていただきました。本市のふるさと納税のさらなる活性化にご協力いただいておりますことについて、あらためてお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢は先行きが見えない状況が続いておりますが、本市が総合計画に掲げる「夢と希望を描き 幸せを実感できるまち 加古川」を実現するためには、複雑多様化する市民ニーズや社会情勢に行政が的確に対応していくことはもちろんのこと、市内商工業者の皆様のご協力が必要不可欠です。本年も、加古川商工会議所をはじめ関係機関と連携しながら、商工業の振興と雇用の確保に向け全力で取り組んでまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様の益々のご健勝と、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心からご祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。